

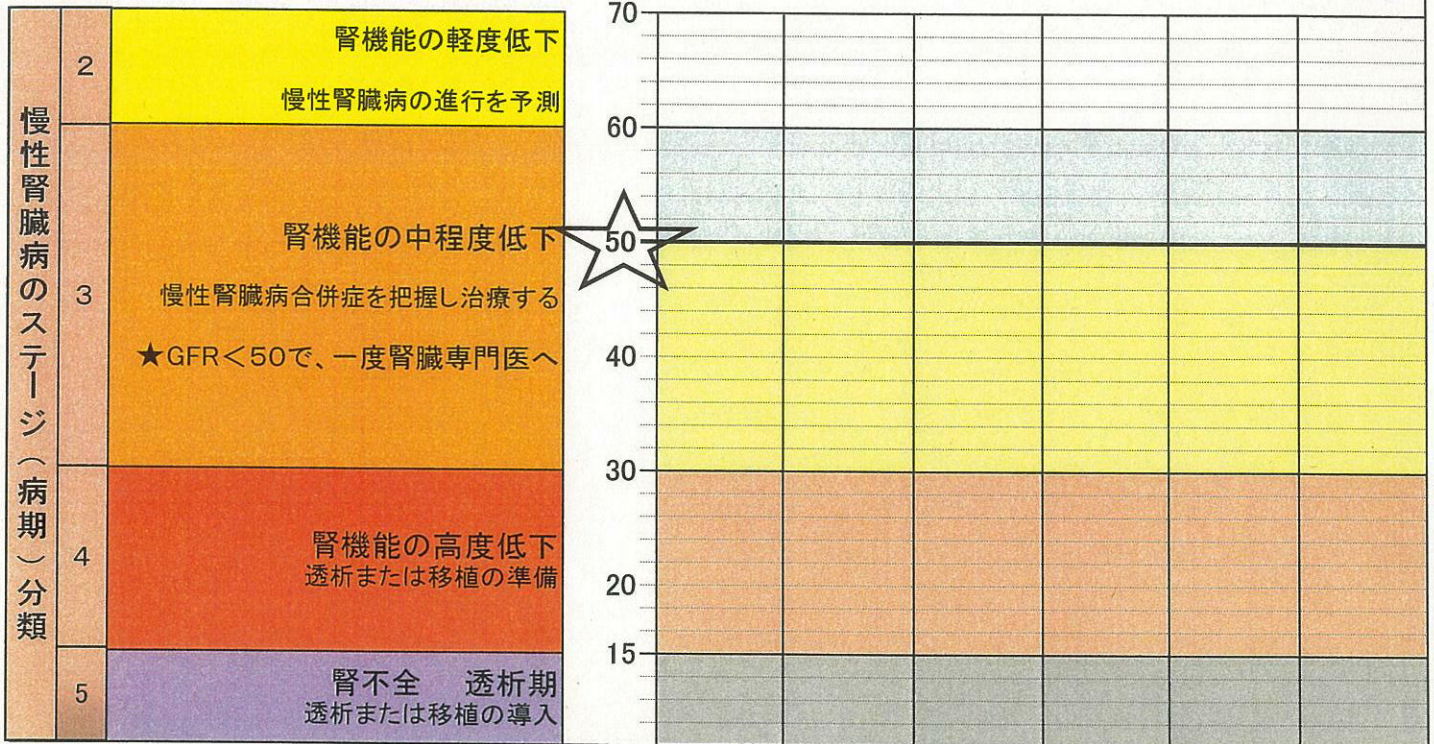
腎機能、その他の検査値のコントロール状態の判断基準

GFR(糸球体ろ過量)は、慢性腎臓病を判断し、腎障害の進行の予測を可能にします

慢性腎臓病(CKD)の定義 〈 1または2 のどちらかを満たす場合 〉

1. 腎臓の障害が3カ月以上持続する
尿異常、画像診断、血液、病理で腎臓の障害が明らかな場合 —特にたん白尿が重要—
2. GFR(糸球体ろ過量) 60ml/分/1.73m²未満が3カ月以上持続する

この項目から GFRを推算 (改訂MDRD簡易式)	検査日		年	年	年	年	年	年
	男・女	年齢	月	月	月	月	月	月
	血清クレアチニン値 (mg/dl)		歳	歳	歳	歳	歳	歳
	GFR(ml/分/1.73m ²)		歳	歳	歳	歳	歳	歳



腎障害 危険因子	尿蛋白(微量アルブミン尿)							
	血压	収縮期圧	130mmHg未満					
		拡張期圧	80mmHg未満					
	インスリン抵抗性	血糖値	110mg/dl未満					
		HbA1c	5.5%未満					
	シメタドポロリックムク	BMI	25未満					
		腹囲	男85・女90未満					
		尿酸	7.0mg/dl未満					
		中性脂肪	150mg/dl未満					
		HDL	40mg/dl以上					
	LDLコレステロール	120/dl未満						